



# 札幌大学ウレシパクラブのご紹介



## ■ 「ウレシパ」とは？

「ウレシパ」とは、アイヌ語で「育て合い」を意味します。ウレシパクラブには、アイヌの学生だけでなく、アイヌの社会や文化に関心を持つ多くの学生や留学生が参加し、アイヌ文化や環境に関わる学習・実践活動を展開しています。また、アイヌの学生たちが様々なコースの様々なゼミで学ぶことにより、大学の中でアイヌ民族の存在が日常化され、現代社会をともに生きる仲間としての真のパートナーシップを築くことが可能となります。

## ■ 目的

1. アイヌ民族の歴史や文化を深く学習・研究するとともに、アイヌ文化振興のための活動を担うことを通じ、アイヌ民族の社会や文化に対する理解を促進します。
2. 日常的かつ継続的な学習・実践活動によって、アイヌ民族の次代を担う優れた人材を育成するとともに、様々な協力支援体制の構築によって、将来の社会的活躍の場の提供を図ります
3. 多文化理解に基づく信頼関係を構築し、多様性に満ちたコミュニティモデルを創造するとともに、対外的に発信します。



## ■ 活動内容

- ①学習会／1. アイヌ語 2. アイヌ文化（精神文化、物質文化） 3. アイヌ史 4. アイヌ民族に関わる社会情勢 5. 芸能 6. その他（世界の先住民族、環境etc.）
- ②実践／1. ウレシパ・フェスタ（学習成果発表会） 2. ウレシパクラブが主催するイベントの実施（山菜採りでの植物学習など） 3. 外部より依頼を受けたイベントへの参加
- ③広報／1. 会報「ウレシパ・ソッコ」の発行（ソッコ＝便り） 2. ホームページやブログ等での情報発信
- ④事務局／事務や財務・会計などの集計、管理

